

行雲流水

No.183 令和4年4月4日発行

本校の「職員会議」に向かう心構え その2

校長 寒河江 正人

年度初めの職員会議に向けて、「**分掌部会・学年部会**」などを進めていただいております。新年度のスタートですので、多少の差はあれども、他校も例外なく、**膨大な議題と濃密な協議事項**に追われているであろうことは、想像に難くありません。

分掌部長・学年主任の皆様には、ご難儀をおかけします。ご配慮よろしくお願い致します。さて、皆様の工夫と改善で、本校の職員会議をより良い実のあるものにしていきましょう。本校の「**学校教育目標・目指す生徒像（目標・目的）**」に即して、その課題を解決するための「**手段**」として、「**職員会議に至るまでの機能**」を**フラッシュアップ**させてください。分掌部長・学年主任は「**決済までの手順**」が、ゆとりをもって機能するようご配慮下さい。

＜手順1＞

担当者は、提案したい案件を、まずリーダーに原案を相談し、指導・助言をもらう。
(分掌部の案件なら部長へ！ 学年の案件なら学年主任へ！ 新たな・難しい案件は教頭へ！)

＜手順2＞

担当者は、修正・調整した原案を教頭・校長の順でレクチャーし、指導・助言をもらう。
(何が課題で、どこをどのように改善したいのか、具体化・焦点化してレクチャーすること！)

＜手順3＞

練られた原案は、企画委員会における最終確認を経て、全体の間（職員会議）へ提案。
(提案する原案のどこに、みんなからの意見をもらいたいのか、具体化・焦点化して提案すること！)

＜職員室のリーダーとは＞

職員室の学級担任は、教頭先生。 班長さんは、分掌部長や学年主任。

余裕をもって、「のりしろ」を大切に、「課題」を解決しましょう！！